

産業建設委員協議会記録

開 会 年 月 日	平成 26 年 3 月 17 日
開 会 時 刻	午前 11 時 18 分
閉 会 時 刻	午前 11 時 35 分
出 席 委 員 名	◎宿 典泰 ○上田 修一 上村 和生 北村 勝
	辻 孝記 山根 隆司 杉村 定男 浜口 和久
	山本 正一
	世古口新吾議長
欠 席 委 員 名	
署 名 者	な し
担 当 書 記	中野 諭
協 議 案 件	伊勢市観光振興基本計画（案）について
	サン・サポート・スクエア伊勢への企業の進出について （報告案件）
説 明 者	産業観光部長、産業観光部理事、産業観光部参事
	観光企画課長、その他関係参与

☆協議経過並びに概要

宿委員長開会宣言及び会議成立宣言後、直ちに会議に入り、協議案件として「伊勢市観光振興基本計画（案）について」、報告案件として「サン・サポート・スクエア伊勢への企業の進出について」、の説明を当局から順次受け、若干の質疑を行った後、聞きおくこととした。

なお、概要は次のとおりです。

開会 午前11時18分

伊勢市観光振興基本計画について

◎宿 典泰委員長

ただいまから産業建設委員協議会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので会議は成立をいたしております。

本日、御協議願います案件は、協議案件として、「伊勢市観光振興基本計画（案）について」及び、報告案件として「サン・サポート・スクエア伊勢への企業の進出について」の2件であります。

これより会議に入ります。

会議の進行につきまして、委員長に御一任を願いたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします
それでは、御報告をいただきます。

産業観光部長。

●三浦産業観光部長

本日は委員会終了後、お疲れのところ、またお忙しいところ産業建設委員協議会を開催いただきましてありがとうございます。

本日御協議いただく案件は、先ほど委員長仰せのとおり、「伊勢市観光振興基本計画（案）について」と、報告案件といたしまして「サン・サポート・スクエア伊勢への企業の進出について」の2件でございます。

なお、詳細につきましては担当課長、理事からそれぞれ御説明申し上げますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

◎宿 典泰委員長

観光企画課長。

●北村観光企画課長

それでは、「伊勢市観光振興基本計画（案）について」御説明申し上げます。

今回策定予定の計画は、観光を取り巻く情勢の移り変わりが激しいことや、市長の政策に左右される面もあることから、20年後の第63回神宮式年遷宮も視野に入れた、当初の4年間に取り組むべき方針として、平成26年度から平成29年度の基本計画を定めるものであります。

計画案につきましては、昨年12月19日の産業建設委員協議会において計画案の概要及びパブリックコメントの実施について御説明させていただきました。

本日は、パブリックコメントの結果概要を御説明申し上げます。

資料1の1をごらんください。募集方法につきましては、市内の公共施設や市のホームページなどに掲載し、市民や市内に通勤通学している方から平成26年1月14日より1カ月間御意見を求めましたところ、8名の方から9通の御意見をいただき、その結果、項目別にして36件の御意見をいただきました。

御意見に対して、計画全般や計画をつくる目的、新しい計画で取り組んでいくことにつきましては、その考え方をお示しさせていただいており、現在実施している施策と関連するものなどにつきましては、その説明をさせていただきました。

結果的に基本計画書として全体を見た中では、具体的な事業の提案などが多く、今回のパブリックコメントを受けて内容の修正が必要となる箇所はございませんでした。

パブリックコメントの内容につきましては、2ページから10ページにかけて、36件の御意見に対して、市の考え方を整理しておりますので、御高覧いただきますようお願いいたします。

なお、資料1の2が最終の計画案となりますので、よろしくお願いをします。

以上、「伊勢市観光振興基本計画（案）について」御説明申し上げます。

何とぞよろしく御協議賜りますようお願いいたします。

◎宿 典泰委員長

ありがとうございました。

ただいまの報告にあたりまして何か御発言ありませんでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎宿 典泰委員長

よろしいですか、はい。

それでは、ないようでありますので、「伊勢市観光振興基本計画（案）について」は、この程度で終わります。

サン・サポート・スクエア伊勢への企業の進出について

◎宿 典泰委員長

次に「サン・サポート・スクエア伊勢への企業の進出について」の御説明をお願いします。

産業観光部理事。

●奥野産業観光部理事

それでは、今回のサン・サポート・スクエア伊勢への企業の進出につきまして御報告申し上げますのでよろしくお願いいたします。

かねてより立地交渉を進めてまいりました「株式会社ふじよし」並びに「有限会社トラスト電気」の2社から3月4日付けで、サン・サポート・スクエア伊勢の事業用地譲渡のお申し込みがございました。

ので、企業進出の内容につきまして、配付させていただきました資料に基づきまして、御説明申し上げます。

配付資料の2の1ページをごらんいただきたいと存じます。

始めに、「株式会社ふじよし」につきまして御説明申し上げます。

まず(1)企業進出の概要等でございますが、企業名は申し上げたとおり、「株式会社ふじよし」でございます。

本社所在地は、三重県伊勢市宇治中之切町85、代表者は代表取締役、湊一郎氏でございます。

設立につきましては、平成25年10月でございます。

資本金800万円で、株式につきまして非上場でございます。

年間売上高につきましては、昨年設立されたばかりなので記載をしておりません。

生産活動は新工場稼働後となります。

平成26年1月現在の従業員数は0人、人員としては役員が2名で、今後、新工場稼働に向け、従業員の雇用をしていくとのことでございます。

事業内容につきましては、神祭具の企画、製造、販売などでございます。

続きまして(2)の進出計画の概要でございますが、新規事業実施のため、新会社を設立し、サン・サポート・スクエア伊勢へ進出するものであります。

進出場所につきましては、資料5ページ、サン・サポート・スクエア伊勢進出予定位置図をごらんいただきたいと存じます。

朝熊山麓の市所有地サン・サポート・スクエア伊勢のA-9区画及び隣接する下の部分ですが、現在広場となっております部分で、面積はA-9区画が3,000.61平方メートル、広場部分が998.07平方メートルで合計3,998.68平方メートルでございます。

なお、A-9区画に隣接する下の部分でございますが、広場につきましては都市計画法施行令第25条の規定により、開発区域に3%以上の広場などを設けなければならないことから、このたびの分譲により減少する面積分の広場を、上のB-4区画の一角に移設を計画しておりまして、今後三重県との開発協議が下りた後、売買契約を締結する予定でございます。

資料1ページに戻っていただきたいと存じます。

資料下段、第1期計画の建設計画につきましては、平成26年8月に建設事業に着手し、平成27年4月に操業開始を予定していると伺っております。

次に1期計画の投資計画でございますが、土地につきましては、5,779万6,000円、以下建物償却資産につきましては、現在概算ではございますが、建物につきましては1億円、延床面積は1,540平方メートルでございます。

償却資産につきましては2,000万円、合計1億7,779万6,000円の計画であると伺っております。

続きまして、資料2ページをごらんください。

生産計画でございますが、平成27年6月期で3,000万円、平成28年6月期で2億円、平成29年6月期で2億5,000万円を目標にするものであると伺っております。

続きまして新工場の従業員につきましては10名で、内訳といたしましては、株式会社ふじよしの新規雇用につきましては5名、関連会社から5名が勤務するものと伺っております。

続きまして、第2期計画につきましては、時期は未定でございますが、同じ敷地内に同規模の建屋をもう1棟増設する計画であると伺っております。

なお、同社のサン・サポート・スクエア伊勢への進出は、高速道路のインターが近く、コンテナの搬入がしやすいこと、造成済みであり、すぐに立地ができること、また高台であり、災害に強いことから、工場進出の最適地と判断し、最終的に立地決定に至ったと伺っております。

また今後の予定でございますが、株式会社ふじよしと、平成26年、この3月末に企業立地協定書の調印が行われ、開発許可予定の6月に土地売買契約書の締結を予定いたしているところでございます。続きまして、有限会社トラスト電気につきまして御説明申し上げます。

資料3ページをごらんいただきたいと存じます。

企業名につきまして「有限会社トラスト電気」でございます。

本社所在地は、三重県伊勢市久世戸町2番地3。

代表者は、代表取締役、須崎典生氏でございます。

設立につきましては、平成12年8月でございます。

資本金につきましては、300万円でございます。

年間売上高につきましては、平成24年11月から平成25年10月までの平成25年10月期で2億8,000万円でございます。

平成26年1月現在の従業員数につきましては、17名でございます。事業内容につきましては、LED照明の設計、開発、生産を行っております。現在コンビニ向けの照明器具が好調であると伺っております。

続きまして(2)の進出計画の概要でございますが、今回の進出計画は、取引先からの受注増により、現在の工場が手狭になってきたことや、品質管理の向上を図るとともに、生産効率の効率化なり、事業拡大を目指すものでありまして、これらの計画を可能にするため本社工場を拡大移転するものでございます。

進出場所につきましては、申し訳ございませんが、資料の5ページをごらんいただきたいと存じます。

B4区画の一部ですね、面積は3,000.74平方メートルでございます。

資料3ページに戻っていただきたいと存じます。中段をごらんください。

今回の建設計画でございますが、平成26年6月に建設事業に着手し、同年10月に操業開始を予定していると伺っております。

投資計画でございますが、土地につきましては4,381万円。以下、建物、償却資産につきましては概算ではございますが、建物につきましては8,000万円、延床面積が1,260平方メートルでございます。

償却資産につきまして500万円、合計1億2,881万円の計画であると伺っております。

次に生産計画でございますが、新規顧客及び新規販路開拓により、目標とする売上高を平成26年10月期、3億円、平成27年10月期4億円、平成28年10月期6億円と現在の平成25年10月期と平成28年10月期を比較しますと、114%増を目指すものと伺っております。

続きまして新工場の従業員につきましては、18名で、新規雇用につきましては、6名であると伺っております。

同社のサン・サポート・スクエアへの進出でございますが、取引先が県外で高速道路のインターが近く、輸送の便がよいこと、高台にあり、津波などの災害に強いことから、立地決定に至ったと伺っております。

また今後の予定でございますが、トラスト電気と平成26年3月末に協定書の調印を行い、ふじよし同様、開発許可予定の6月に土地売買契約書を締結する予定といたしております。

両社の立地によりまして、地域における新たな雇用の場の創出、地域振興はもとより、地場産業の活性化に大きく寄与されるものと期待をいたしているところでございます。

なお、資料6ページ、資料7ページにそれぞれの建設図面と配置図をつけさしていただきましたので、後ほどごらんいただきたいと思っております。

以上サン・サポート・スクエア伊勢への企業の進出につきましての御報告とさせていただきます。何とぞよろしくお願いたします。

◎宿 典泰委員長

はい、ありがとうございました。

ただいまの報告にあたりまして、御発言はありませんか。

よろしいですね、はい。

山根委員。

○山根隆司委員

展開を聞かせてもらってよろしいですか。

すいません。今回これに2社の方が手をあげてくれました。残っているところがこのB-4の残地1万842.46平米でございます。

企業の進出ということにつきまして、もう残りこれだけということで、今後の展開として、どのように考えているのか、考え方があればちょっとお聞きしたいです。

◎宿 典泰委員長

理事。

●奥野産業観光部理事

委員仰せのとおりですね、現在サン・サポート・スクエアの分譲の進捗率につきましては、資料でお示しさせていただいたように86.6%でございます。震災以降ですね、高台需要等ですね、引き合いと申しますか、問い合わせも他にも来ている現状がございまして、今後の企業誘致の進め方といたしましては、当然、サン・サポート・スクエア以外の部分の適地を探していかなければならないと考えております。

当面と申しますか、現在サン・サポート・スクエア伊勢の東側に県有地が、約3万9,500平米ございます。現在も県と協議を進める中で、ここへの立地について、今後、県と調整をしながら進めてまいりたい。

その後につきましては、当然市内一円に関して、工業適地につきましても、今後民地も含めてですね、模索検討をしていきたいと考えておりますのでよろしくお願いたします。

◎宿 典泰委員長

山根委員。

○山根隆司委員

説明ありがとうございました。

今後については県有地ということで、そこで検討していきたいという御答弁でありましたが、このB-4の横の片側の空いているところは県の防災拠点ということで、そこについては、これはだめなのかなと思います。

今、東側の方については県有地と言われていましたが、聞くところによりますと、菓子博とかいろんな形でこのところを利用したいというような話も聞いておりますので、そのあたりについて、期間とかそういう形の中で、この民間の民地も含めた中で、検討していく中で、伊勢のところでは本当に今、企業が来てくれるという、造成済であって、高台であってということがやっぱり第1の条件なのかなというように思われます。

その点も踏まえてやっぱり企業の進出という、企業誘致ということにおきまして、やっぱり伊勢の業者がもう土地がないよって、松阪とか、四日市とか違うところに行かれても、また税金に対して困るのかなというの我也思います。

いち早く県との協議をする中で、私がパツと思うには、大仏山にも、県の公社がもっておる土地が高台であるのかなというようなことも思っておりますので、その形も含めた中の検討を期待しますのでよろしく願いいたします。ありがとうございます。

◎宿 典泰委員長

答弁よろしいですね、わかりました。

他に御発言はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎宿 典泰委員長

発言もないようでありますので、この程度で終わります。

以上で御協議願います案件は終わりましたので、これをもちまして産業建設委員協議会を閉会いたします。

ありがとうございました。

閉会 午前11時35分